

輪島市過疎地域持続的発展計画(案)に対するパブリックコメントでの御意見と輪島市の考え方

「輪島市過疎地域持続的発展計画(案)」の策定に当たり実施しましたパブリックコメントにおいてお寄せいただいた御意見等とそれに対する輪島市の考え方をとりまとめましたので公表します。

募集期間	令和7年10月30日(木)から11月28日(金)まで
意見提出者数	1名
意見等件数	6件

No.	頁	該当箇所	御意見等	輪島市の考え方
1	-	全体	ほぼ前回のを踏襲したものとなり、戦略的なものが薄い。我慢すべきところは我慢してもらうようお願いし、項目を削減すべきであると同時に、戦略的なものを入れるべきである。	本計画は、向こう5年間における過疎地域の持続的発展に向けた大枠の「方向性」と「柱となる事業」を示すものであり、まずは「必要な施策を網羅する」という観点から作成しております。 しかしながら、いただいた御意見の趣旨であります「限られた財源を戦略的に重点配分する」という視点は、計画を実効性のあるものとするために不可欠であります。 いただいた御意見につきましては、今後の本計画の具体的な実行フェーズ及び毎年の予算編成作業において、検討してまいります。
2	21	担い手経営強化担い手である農業者、認定新規農業者、営農組織の農業機械購入を支援	新規就農に絞る	災害からの早期復興には、新規就農者の育成はもとより、既に地域で営農を継続している既存の農業経営体の再建と経営強化が喫緊の課題であります。 既存の担い手の意欲的な投資や規模拡大を支援することで、地域全体の復興スピードを向上させる必要があります。 地域農業の維持、早期復興と多様な担い手の育成という観点から、対象者を「新規就農者」のみとせず、広く地域の意欲ある農業経営体を支援する方針で事業を実施してまいります。
3	22	商工業・6次産業化への支援	商工業・6次産業化支援全体的に、従来通り配るのではなく、見える化をし、これへの支援を縮小し、将来財源を確保するよう、「その他の財源のために全体として縮小する方向で検討するが、成果に応じて財源を継続していく旨」を追記する。	本計画は、向こう5年間における過疎地域の持続的発展に向けた大枠の「方向性」と「柱となる事業」を示すものであり、個々の事業の具体的な予算規模や縮小・廃止の方針を確定するものではありません。 しかしながら、いただいた「支援の成果の見える化」や「将来的な財源確保のための全体的な支援の縮小」といった御意見は、本市の財政健全化と真の「創造的復興」を実現するために不可欠な視点であり、毎年度の予算編成作業において、具体的な財源配分の重点化と見直しを実施してまいります。
4	23	企業誘致事業	削除	復興期間中において、雇用を生み出し、消費を喚起し、地域経済をけん引する「復興の核」となる企業や人材を、市の施策によって積極的に「呼び込む」ことが、復興のスピードを上げ、早期の地域経済の安定に不可欠と考えております。 いただいた御提案は御意見として承り、今後の施策にいかしてまいります。

No.	頁	該 当 箇 所	御 意 見 等	輪 島 市 の 考 え 方
5	30	(9)過疎地域持続的発展特別事業（公共交通）	「ライドシェア」の積極的な運用への助成を追記。路線バスへの負担金の縮小の明記。	本計画は、向こう 5 年間における過疎地域の持続的発展に向けた大枠の「方向性」と「柱となる事業」を示すものであります。個々の事業の具体的な内容や予算規模を確定するものではなく、いただいた御意見につきましては、毎年の予算編成作業において、検討してまいります。
6	42	老人クラブ活動支援事業	老人クラブ活動支援事業の縮小を明記。少しご負担をお願いする旨を明記。	本計画は、向こう 5 年間における過疎地域の持続的発展に向けた大枠の「方向性」と「柱となる事業」を示すものであります。個々の事業の具体的な内容や予算規模を確定するものではなく、御指摘の事業規模や負担のあり方も含めて、毎年の予算編成作業において検討してまいります。